


新型コロナウイルス感染症の本当の怖さって何だろう？ ～それぞれの立場で考えてみよう～

ウイルスがもたらす

第1の“感染症”は 病気そのものです

このウイルスは、感染者との接触でうつることがわかっています。


感染すると、風邪症状や重症化して肺炎を引き起こすことがあります。



日本赤十字社

新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！

～負のスパイラルを断ち切るために～



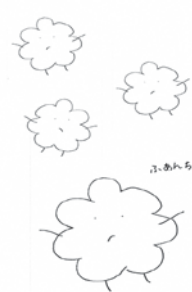
ウイルスがもたらす

第2の“感染症”は 不安と恐れです

このウイルスは見えません。ワクチンや薬もまだ開発されていません。

わからないことが多いため、私たちは強い不安や恐れを感じ、ふりまわされてしまつてしまいます。

それらは私たちの心の中でふくらみ、気づく力・聴く力・自分を支える力を弱め、瞬く間に人から人へ伝染していきます。




ウイルスがもたらす

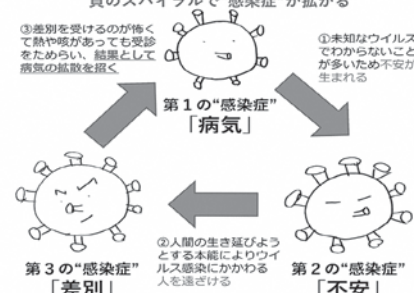
第3の“感染症”は 嫌悪・偏見・差別です

不安や恐れは人間の生き延びようとする本能を刺激します。

そして、ウイルス感染にかかわる人や対象を日常生活から遠ざけたり、差別するなど、人と人の信頼関係や社会のつながりが壊されてしまいます。



負のスパイラルで“感染症”が広がる



①未知なウイルスでわからないことが多いため不安が生まれる

②人間の生き延びようとする本能によりウイルス感染にかかわる人を選別する

③差別を受けるのが怖くて熱や咳があっても受診をためらい、結果として病気の拡散を招く

この“感染症”の怖さは、病気が不安を呼び、不安が差別を生み、差別が更なる病気の拡散につながるのです。

なぜ、嫌悪・偏見・差別が生まれるのか

見えない敵（ウイルス）への不安

特定の対象を見える敵と見なして嫌悪の対象とする

嫌悪の対象を偏見・差別し遠ざけることでつかの間の安心感が得られる

本当の敵を見なくなる

敵がすり替わってしまう

敵はウイルス

あんなこと言っちゃったけど...

でも私めいつ言われるかわからない... あん...

病を患っているあの人、コロナかも...

△△地区は危ない

××人だ、危ない

第1の“感染症”をふせぐために

1人1人が衛生行動を徹底しましょう。


「手洗い」

「咳エチケット」

「人混みを避ける」

など、

ウイルスに立ち向かうための行動を、自分のためだけでなく周りの人のためにもすることが大切です。



第2の“感染症”にふりまわされないために

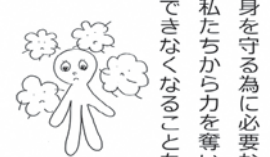
不安や恐れは私たちの

気づく力

聴く力

自分を支える力を弱めます。

不安や恐れは身を守る為に必要な感情ですが、私たちが力を奪い、冷静な対応ができなくなることもあります。




第3の“感染症”をふせぐために

不安を煽ることは病気にに対する偏見や差別を強めます。

・「確かな情報」を拡散しましょう。

・差別的な言動に同調しないようにしましょう。




まとめ

3つの感染症をみんぞも乗り越えていくために

このように、新型コロナウイルスは、3つの“感染症”という顔を持って、私たちの生活に影響を及ぼします。

このウイルスとの戦いは、長期戦になるかもしれません。

それぞれの立場でできることを行い、みんなが一つになって負のスパイラルを断ち切りましょう！



感染のリスクは様々なところに潜んでいます。それぞれの立場で考え行動し、新たな被害を食い止めていけたら、少しでも不安や差別が世の中から無くなるかもしれません。

力を合わせて負のスパイラルを断ち切りましょう。

《出典：日本赤十字社》